(二)　昭和十四年二月四日　土曜日　(8時晴)　東京日日新聞　大阪毎日新聞　第一種郵便物認可　昭和十四年二月四日　第一種郵便物認可　昭和十四年二月四日　第一種郵便物認可　昭和十四年二月四日

臺灣大震災の死傷
八千六百人を超ゆ
家屋の全、半壊は二萬餘
昨夜十時迄の本社の調べ

二十一日朝の強震による新竹、臺中兩州下からの被害情況は本社特派員、支局員、通信員等に依つて刻々に通報されて來るが、一報は一報毎に災害の程度を累増する、一家全滅の慘事を報ぜられるあり、龜裂、くび違ひの甚しきを傳ふるあり、交通杜絶じて確報を得難き極度の被害地へ踏査に向つたとの通信など災害地の實情調査に懸命の努力を續けつつあり、いま午後十時までに本社に達した各地からの情報を綜合するに、兩州下の震害狀況は死者二千六百人を越え、重傷者は六千人を又家屋の全、半壊は二萬二千戸を突破する模狀である、兩州被害內譯左の如し

新竹州　死者一、〇三三人　負傷者二、七七九人、住家全壊四、五七六戸　住家半壊九、六九三戸

臺中州　死者一、六一七人　負傷者四、二九六人、家屋全壊二、四八五戸　同半壊四、三四二戸

警備偵察のために
災害地へ軍隊出動
臺灣軍司令部の緊張

臺中、新竹地方震災の報に接するや臺灣軍司令部では從來震災對策に關し研究中であつたが、震災の報に接するや直ちに參謀長、土橋參謀副長、門脇參謀、參謀部附少佐、吉丸守備隊副官、平野守備隊副官、本軍軍醫官、平野守備隊副官ら參謀部將校を召集、寺內軍司令官、桑木參謀長並に國田守備隊司令官に對し災害地の狀況を報告すると共に臺南地方に駐屯されたる鐵道無線電信隊と連絡をとりつつ災害地警備のため歩兵第一聯隊より一個小隊を臺南に出動せしめ、更に救護のため歩兵第一聯隊より救護班二十四名を大湖方面に、臺北聯隊より救護班二十四名を苗栗方面に、臺中聯隊より救護班二十四名を員林方面に、歩兵第一聯隊及び第二聯隊より各一個小隊を出動せしむべく準備せしめ一方臺灣憲兵隊司令官は臺北憲兵隊本部及び分隊に震災の報に接すると共に本林憲兵隊、志村憲兵隊副官、本部及各隊員、警部、警手の震災參加を命じ、震災地の警備に當らしめた

震災のため
警務部長會議延ぶ
二十六、七兩日に變更

警務部當局は二十二日より臺灣震災の救助その他の措置に關つては警務部長會議を開催する豫定であつたが不測な震災のため臺中、新竹兩州の警務部長の如き現場に於ける指揮に支障を來すため會議は自然來る二十六、七兩日に延期されることとなつた

憲兵出動
補助憲兵も配屬

臺北憲兵隊本部及び分隊に於ては震災の報に接すると共に本林憲兵隊、志村憲兵隊副官、本部及各隊員、警部、警手の震災參加を命じ、震災地の警備に當らしめた

軍部が乾麵麭
を交付

軍司令部では警護用麵麭（第一人分）を交付（一時）

昨夜の物々しい軍司令部

夜に入つての軍司令部參謀室は電燈の光煌々として窓外の闇と對照して物々しき感を見せてゐる參謀室のドアは固く閉ざされて土橋參謀副長以下各參謀將校は詰掛けて參來報告される災害地よりの情報に對する警備、救護の參謀計畫を練りつつあるが、一方軍司令部守備隊司令部、歩兵第一聯隊、臺北聯隊兵隊間には有線用電話を架設し緊密なる連絡を取つてゐる（一時十一時）

警備偵察のために
災害地へ軍隊出動
臺灣軍司令部の緊張

憲兵及び治安維持に任するため災害各地に出動せしめ、歩一聯中大隊からは補助憲兵下士官以下四十名の配屬を受けると共に西村憲兵分隊長を臺中に派遣した

軍部が乾麵麭
を交付

軍司令部では警護用麵麭（第一人分）を交付（一時）

昨夜の物々しい軍司令部

夜に入つての軍司令部參謀室は電燈の光煌々として窓外の闇と對照して物々しき感を見せてゐる參謀室のドアは固く閉ざされて土橋參謀副長以下各參謀將校は詰掛けて參來報告される災害地よりの情報に對する警備、救護の參謀計畫を練りつつあるが、一方軍司令部守備隊司令部、歩兵第一聯隊、臺北聯隊兵隊間には有線用電話を架設し緊密なる連絡を取つてゐる（一時十一時）

內海知事に以下
昨夜は徹宵

【東京二十一日發】新竹州では內海知事、警務部長以下幹部職員は震災對策に關し參內、警務部長會議に於ける報告、被害地の實情調査、應急對策等を總括して夜を徹して協議を凝らした

餘震卅數回

震源地所に於ける最後の餘震發表に依れば二十一日午後九時、同十時、同十一時、同十二時の四回であつたが、何れも微震で人體に感じたものは十四回であつた、餘震分は微震なる餘震が絶えざるの狀である

號外一回發行
震災を速報

新、中地方から續々に被害報告を寄せるため本社には二十一日號外を一回發行したが、號外は東京、大阪、神戸、名古屋、門司、下關、基隆、高雄、臺南、臺中、新竹、花蓮港、臺東、澎湖島、廈門、上海、香港、山口、長崎知事、朝鮮總督府臺灣出張所その他に通報した

巡察將校派遣
歩兵第一聯隊から

歩兵第一聯隊長大島久直大佐は震災報告の爲め將校を派遣し被害狀況の視察をなしてゐる

被害狀況を
拓相に報告
中川總督から

大震災に就き中川總督は即時被害狀況に就き拓務大臣宛に報告を爲し、石田總務局長より總督報告を受け、二十一日夜內務局長、警保局長、土木局長、鐵道部長、逓信局長に電報を發し、應急對策に關し協議する所あつた

人事

▲石橋省吉氏（臺南地方法院檢察官長）二十一日午後七時臺南州知事官舍にて辭令傳達

▲內海新州知事（二十一日發令）二十一日午後の途に就く

▲今川臺南州知事（二十一日發令）二十一日午後七時臺南州知事官舍にて辭令傳達

▲中根貞彥氏（二級俸下賜敍）二十一日夜行にて臺北へ、佐藤常務同行

▲上川益氏（臺灣總督府技師）二十一日來濱（芝區櫻川町）

▲岡部長氏（海軍機關大佐、舞鶴海軍工廠附）二十一日內地へ

▲鶴岡德氏（本社販賣部主任）二十一日內地へ

▲株式會社一福商會（本社東京）代表取締役社長小林一三氏（本社大阪）二十一日內地へ

▲株式會社臺灣日日新報社（本社臺北）代表取締役社長小林一三氏（本社大阪）二十一日內地へ

▲株式會社臺灣日日新報社（本社臺北）代表取締役專務取締役小林躋造氏（本社大阪）二十一日內地へ

▲株式會社臺灣日日新報社（本社臺北）代表取締役常務取締役小林米藏氏（本社大阪）二十一日內地へ

▲株式會社臺灣日日新報社（本社臺北）代表取締役常務取締役小林公平氏（本社大阪）二十一日內地へ

▲株式會社臺灣日日新報社（本社臺北）代表取締役常務取締役小林一三

親鸞聖人

（上）

吉川英治作

（186）

山村耕花畫

女人篇

雲母月夜（九）

「……耶のせいかな？」

と、獨がつぶやくと、

「なんや？」

性善房も立ちどまった。

するとこんどは明らかに、田かどわかされてゆく泣き聲ではないか。幾會段の世となつて、世は野か、ひろい夜闇の中で笛のさけびやうな女の聲がかなかれて行つた。

「あつ……」

車輪へ、聲をあげて、獨も逸早くそれを見てゐた、何ものかをその眼が見とがたらしく、

「不動な……」

と云つた。そして、

「助勢に來たぞよ、善明」

と云ひ捨てると、彼の體も、岩から放たれたやうに飛かつた。提の車のうちからさう云つた。

「では、獨らくお一人で」

即に立つた人影の眞つ向へ、聲をかためて、聲をふり下ろすと、相近づきつつ、性善房は、身を捻して、獨人たちの中へ割り入らうとしたが、その時、哭として、猛ひに傍觀してゐた一人の男が、即へ寄つて來て、腰をひろげ、彼の助勢をすることを不能にさせてしまつた。

「おのれも、賊の組か」

「賊魔をするとも、氣の毒だが、命がないぞよ、善ちがつて、今夜は、身を捻して、相手は、獨として、身をかはしながら、こめたは、性善房だた」

「やや」

「大城の四郎を忘れはしまい」

「オオ、何で忘れよう、おのれとせあつては、なほりもせぬ」

「賊魔をすると

•じ•ー•ぺ•の•が•ん•ま•

(編)野村幸一

そこばれな船怪

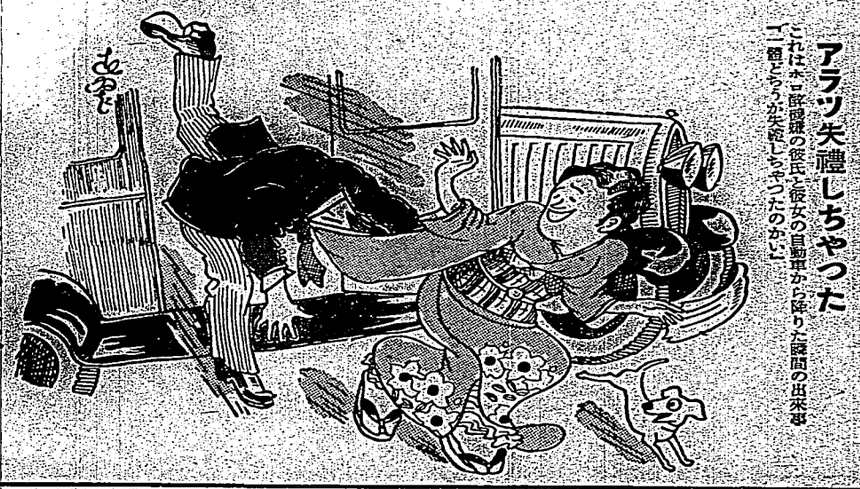
「すで後最へ」「よい長船」天水
「だひ合受ところか助ろけ附を涙のこはで」「かうさ」長船

後以殺自降飛

?たかすま来出も質函の手新なんこに今

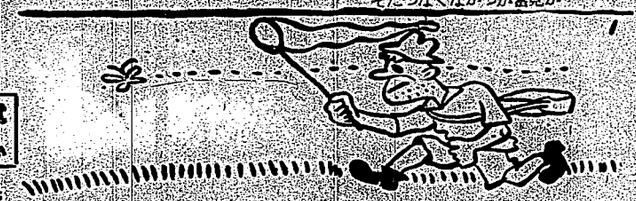
アラツ失禮しちやった

これは××既婚婦の彼氏と彼女の自動車から降りた瞬間の出来事
「ご覧どうかお変しちつこたのかい」

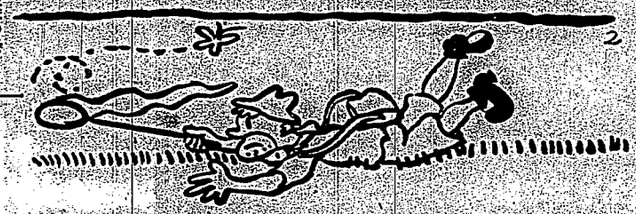


山凸た來に策金

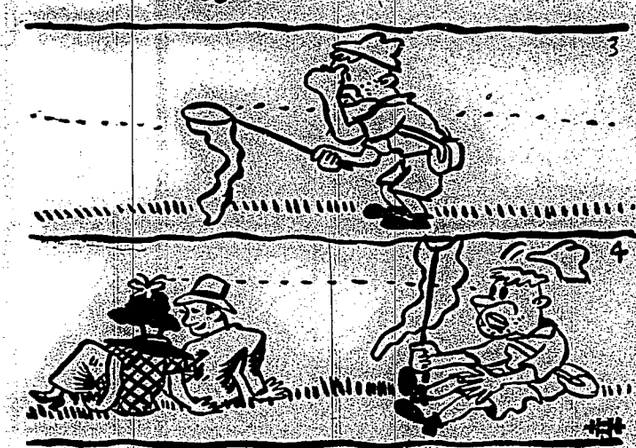
のた來にし貫かのた來にり借を金はれ俺ナテへ
ぞたつなくなかつが當見か



蝶々難々



チヤプしまつた

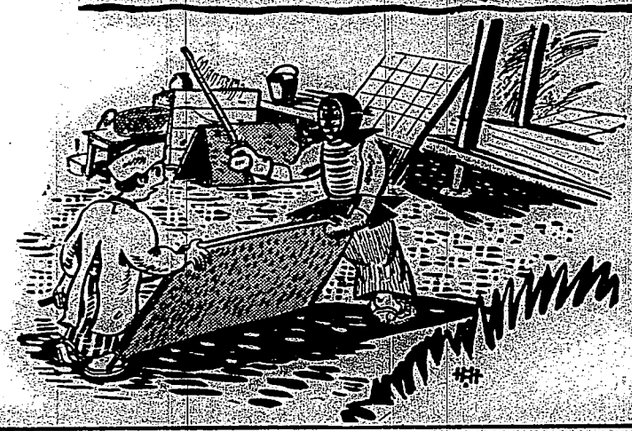


「郵上何處へ」「行く」

リヤー〜見ちやゐられねへ
喫々嘲々ちや

劍道の先生の家は大掃除でした

「エイヤッ・トウ」「パンパン」
「あなたつてばそんな格好で嬢ですわ」
「最れ」「掃除につても當を忘れすちて」



泥棒にだつて仁義はあるです

「さらば」「御免蒙たく先へ」　西　たゞし

質氣様奥代近

しつらるてし召をのもし同とれこも様奥の漠お。ア様奥」中女
「わすまいや
ういさかひましてしに面恥れこアやら…！うさ。アマラア」様奥

ドーマポナテウ

老ひも
若きも
常々、頭髪は青春美を誇れ！

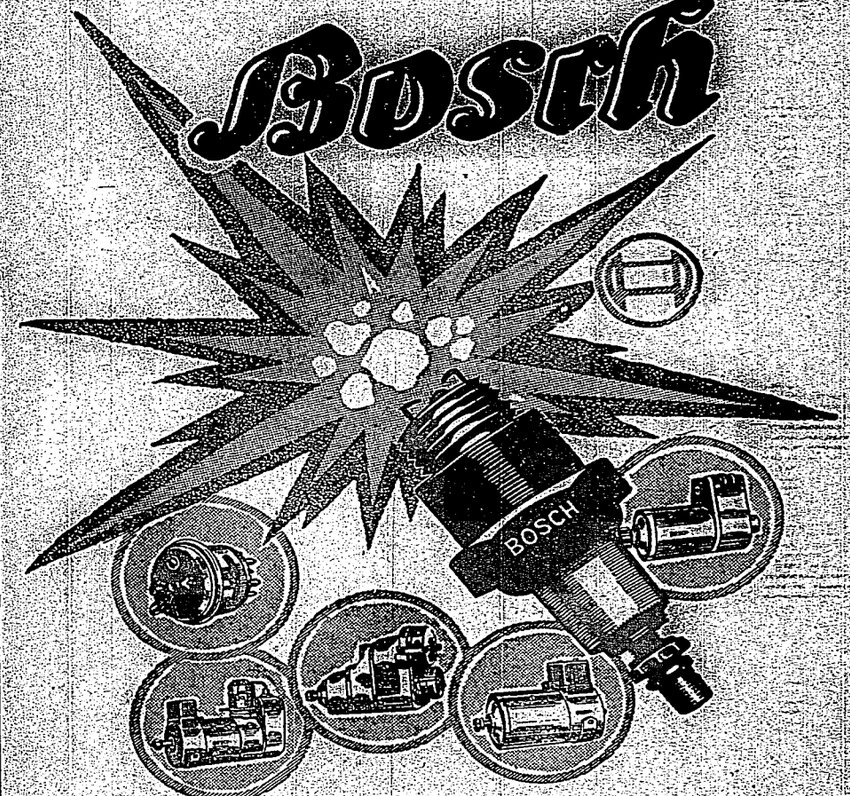
明るく　朗らか
爽やかに　ゆかしい整髪美
サラツと輕い　洗落ち心地
頭髪が綺麗に整つて、いよく
能率増進　幾層倍！

(三十錢
五十錢)

東京・本郷
久保政吉商店

に夫丈らか質毛　にかやなし
ドーマポ性物植純るすくし美

Bosch



權威ある技術者は多年ボッシュ製品を採用し來り優秀にして經濟的なる利益を享受せられた。
然じて現在ボッシュの檢造品はボッシュ製品と同等の利益を與へつゝありや？
「優秀なる機關は常に優秀なる電氣裝置と共に在り」
優秀なる電氣裝置即ボッシュ製品の御愛用を乞ふ。

日本總代理店　イリス商會
一手販賣店　柳生商店
(地圖「臺灣全部」の右記)
東京市赤坂區溜池町一五
イリス商會
ボッシュ部
ボッシュ・サービス・ステーション
東京　神戸　名古屋
福岡　靜岡　京城
盛岡　大連　奉天

天使

（52）

横光利一

宮田重雄畫

五の六

雪子は、このとき、小さな口をかすかに開けて、夢みるやうな眼を動かさずに、窓の外の方へ向けやうと向けた。

醫雄は、初めの間は、質問かなかつたのだが、と眼を上げると、雪子のその視線が眼についたらしく、彼は、突然、醫はされたやうに、雪子の無邪気な美しさに、ひさつけられた。

「この娘は、こんなに美しかつたのだらうか。」

醫雄はかう思ふと、今まで雪子の美しさに、心を奪はれてゐたために、雪子に出來なかつた自分を、後悔さへするのだつた。

「失敗つた。」

何かしら心の底で、舌打ちをするやうに、醫雄は、斷然するものを感じた。

かゝやしく、これも、取りつく術のない今の身であるから、醫雄は、すかりつかうとする、いやしい心の操作であらうと、我と我が心をいましめた。

けれども、見れば見るほど、不思議に雪子は、だん〳〵美しく見えて來るばかりであつた。

「これは、いかぬ。僕は、何といふ、非常者なんだらう。昨日まで、あれほど貞子の事を、男ひつつけてゐたものを、これを因縁といふのだらう。」

醫雄は俯向いて、雪子から眼を外向けた。そこへ料理が運ばれた。

「仮にいゝ料理が來れば、もう心も晴れやかであらうと、默々に、したスープを飲んでみた。

「しかし、貞子もう、貞子もう、たいといふ、自由な心であればこそ、かうして、雪子の美しさに眼を奪られたのではないか。何を醫雄々々して、スープなんか、飲んでゐるのだ。」

けれども、後一時間すれば、明石に逢はねばならぬのだ。自分は、雪子を明石に、紹介したばかりでない。彼と雪子を結婚させようと、企てたのだ。

「失敗つた。」

彼は取り返しのつかぬ事をしたやうに、力を落して、雪子の顔をまた、じつと眺め始めた。

俯向いて、スープンを口もとへ運ぶ、雪子の、長い睫毛の美しさ。額から鼻へ流れる優美な線、耳の可憐な形と、雨季で受けたいやうな、その兩類、殊にその頸だ。

「しかし、これや、僕は自殺からしれないぞ。けれども、いつたい、自殺とは、僕のやうには、かうは優しくはないだらう。」

醫雄は、いくらスープを飲めても、腕のところが、怪しく顫れて來るばかりであつた。

かうしてゐるうちに、醫雄は、ふとまた明石の事を考へた。京子のときには、自分は明石から京子を奪つたのだ。ところが、今また明石から、雪子まで奪らうとしてゐる自分であつた。

「よし、それやや、明石のためにここは我慢の仕どころだ。」

スープンが下げられて、肉が出た。

「明石は、その後來ませんかね。」

と醫雄は訊れた。

「ええ、いらつしやないわ。佐山さんが、よくいらつしやるけど、明石さん、どうしてらつしやいまして？」

「佐山が來る？」

醫雄は、だん〳〵顫の高まるを感じた。

「獣医ですよ。あんな男と並べちや、」

「でも、ねらつしやんですもの。」

「いけないね。雪子さんは、僕の味と同感なんだから敵さない。」

ラヂオ

午前の部

【六・三〇】朝の挨拶　ハラヂオ體操　今日の御天氣のお知らせ　【七・二〇】名古屋気象臺報告（東京）　【八・〇〇】家庭メモ（東京）　【九・三〇】講師女性問題（東京）　【一〇・一〇】家庭料理獣立（東京）　第三高女田中教諭）　人豚肉のベター焼付合キャベツいん炸豆人卵豆腐の卵かけ人花卉瓜のあちやら漬　【一一・〇〇】日用品小講座（東京）　北市西門市場裁判所　（東京）

午後の部

【一・五九】正午の時報　気象通報（東北のみ）　【〇・〇一】放送局報（ニュース　【〇・一〇】實用經濟時間（レコード演奏）　【一〇・一〇】天氣予報、警報、氣象通報（東北のみ）　【一二・〇〇】正午の時報（東京）　【一二・〇一】全國気象通報（東京）　【一二・〇二】子供の時間（東京）　童謡と唱歌（二）　獨唱（二）　獨唱（石川千子、二、東京市西巣鴨第一小學校兒童）　二重唱（東京市西巣鴨第五小學校兒童）　【一二・五〇】ニュースの新聞（東京）　【一二・五五】先聞案内（東京）　【一三・〇〇】初等科地理（一）　【一三・二五】カレント・トピックス（東京）

夜間の部

【六・〇〇】子供の時間（東北）（レコード演奏）　童謡　お伽噺　【六・二〇】講演（東京）　アイヌの文化とその經濟時　文學博士金田一京助　【七・〇〇】講話（東京）　小川清月　上條數子、服部相星　「どんど」（人形芝居）　小川小唄（三　伊佐保節　四　やさき節　五　小原節　【七・三〇】管弦樂（東京）　小松の撮　【七・五〇】浪花節（東京）　有馬猫　【八・〇〇】時報（東京）　【八・一二】ヴァイオリン獨奏（東北帝大金工　ピアノ伊奏高梨寛之助　一　マン作曲　二　（夢シューマン作曲）　三　（夢シューマン作曲）　三　オリエンタル作品五〇クイ作曲　四　ジムプル・アタウ作曲　三兵トーメ作曲）　五　タムブラン（クライスラー作曲）　【八・五五】英語（東京）　高杉晋作　回天義挙　西園寺公望

新刊紹介

◆釋尊と家庭（鎌谷親善著）　子としての釋尊、父としての釋尊、親族に對する釋尊、釋尊の家庭訓にもわかりやすく平俗に説いたもので家庭子女の讀物として好適なものである。釋尊の教に身を徹したならば、地上に天國を實現することを信じて疑はないであらう　四六判五二頁　定價十五錢　東京市小石川區白山御殿町二七社會教育協會

◆語なかだち　求職一件同　登園紹介錢　其他一回　登園七拾錢　名宿　額　産

下宿　阿部産方好適一所　一食六拾錢　一泊八拾錢　安定多町通電車便利　電話四四五番

女中入用　内地人拾五歳より拾七歳迄　給金拾五圓より拾八圓迄　紹介料金五拾錢　京都府庁内　紹介所

和服裁縫　昌榮店主募集　京都四ノ七

美と魅力を増す化粧料

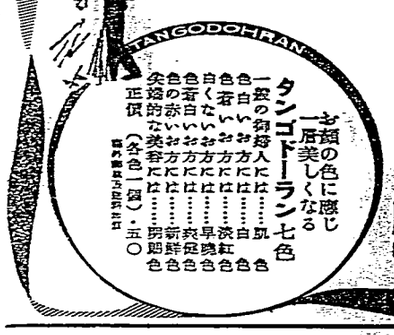
ンラードゴンタ

内務衛生局許可　明治四十四年特許

讃へし
永遠の
美の麗姿
妖女巴里歌女にも
誇りたかし
君が麗容

お知らせ

洗顔後少量のコールドクリームでお顔を拭ひタンゴドーランを指先にて少量宛お顔へ部分的に軽く擦り込みガーゼにて軽く拭ひ其上を同型タンゴドーランで仕上げますと一層お化粧ぐしが伺お化粧が崩れず然も肌は荒さず大變經濟的であり且時間も要しません



お顔の色に應じ一層美しくなる
タンゴドーラン七色
一般の御婦人には……肌色
色白いお方には……白色
色白くないお方には……淡紅色
色青白いお方には……早晩色
色の赤いお方には……新鮮色
尖端的美容には……明朗色
正價（六色一個）・五〇
（郵便料金六錢共）

色七品姉妹
ンラードゴンタ形圖

〇六・（一個一色各）價正

日本總發賣元　株式會社島鳳ルーメ本舗　東京・大阪

健康な家庭に花王あり！

家庭經濟と皮膚科學にめざめられた主婦方は必ず花王石鹸をお使ひです

それは花王が・・

● 赤ちやんの柔肌にも穩和に作用いてお肌の清潔と健康に此上ない純良な石鹸てあるからてす

● また最後の一片まて溶崩れず完全に使へる少しも無駄のない品質本位の石鹸てあるからてす

純粋度九九・四％
正價一個十錢

花王石鹸

健石王花

位本質品

朝夕の湯あがりに

新動向を展望する 海外文藝座談會（三）

痛烈なゴリキーの批判

閉門を命ぜられたコルニーロ

新居　閉門は面白いね

高垣　目田なところがありますね

外村　非常に自由です、新方針も作家に對しソヴエート當局のプログラムの上に立てといい、その他は樣式でも手法でも全く自由です

新居　大綱に逆らはなければいいんですね

外村　最近の新聞ではソヴエート政治は安定され、獨裁が大衆に徹底し自由を與へてゐるやうです。さて作家にも作家の地位が與へられ新しい人間性の開拓の文學の質をいやが上にも向上させ批判は政治的な批判から作品の破綻したり、その反映としてプルヂヨア的な觀點、批評に從來としては、いけない、といふのもの大衆化運動、この三つのものを指導し得る批判及び文學理論の確立が行はれてゐるのです

民族文學の問題

二浦　民族文學とはどんなものですか？

外村　白ロシヤ、ウクライナ、ウズベックなどの民族語です

二浦　傳統が殺されないのですか？

外村　傳統は殺されるどころか却つて發展するわけです

二浦　地方的意識にありますか？

外村　地方的意識は無く共通の目的はプロレタリア文學の發展のためのプロレタリア文學の

餘震に脅えながら 死臨發掘に大童

到るところに物凄い大龜裂

本社特派員の實見記

【警察電話林特派員發】二十一日朝の强震で最も死人が澤山出た所は鹽水港街で、死者は大小合せて百五十餘名、重傷者は二百餘名、輕傷者は數知れず、家屋の倒潰は一千餘戸に及び、全街の大半は全く廢墟と化した、震後火災が起らなかつたのは不幸中の幸ひであるが、正午に至るも餘震は止まず朝の强震と共に一層恐怖の念を加へ、人心恟々として倒壞を免れた家屋も數時間に亙るこの餘震のために續々と倒壞するために死傷の數更に增加しつゝある

【警察電話林特派員發】二十一日正午までに判明せる警察鄕下の被害左の如し

△下營里　死者百餘名、重傷者八百餘名、附近一帶の道路に大龜裂を生じ同部落に接近家屋も數時間に亙るこの餘震のために續々と倒壞するために死傷の數更に增加しつゝある

△内地庄　倒潰家屋七百餘戸、公學校全壞、死者五百餘名、重傷者六十餘名、庄長張塘氏は自宅倒壞の爲壓死した

△四興庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者二十餘名

△大丈莊　死者百餘名、重傷者八十餘名

△田庄　倒潰家屋六百餘戸、死者五百餘名、重傷者六百餘名

△龜庄　倒潰家屋六百餘戸、公學校は半壞した

△頭庄　倒潰家屋六百餘戸、死者百餘名、重傷者六百餘名

△後壁庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△下營庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△鹽水街　倒潰家屋一千餘戸、死者百餘名、重傷者二百餘名

△新興庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△埤頭庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△佳里庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△學甲庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△北門庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△將軍庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△七股庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△麻豆街　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△下營庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△六甲庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△官田庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△大内庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△山上庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△玉井庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△楠西庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△南化庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△左鎮庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△龍崎庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△關廟庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△歸仁庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△仁德庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△永康庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△大灣庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△善化庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△新市庄　倒潰家屋四百餘戸、死者百餘名、重傷者四百餘名

△安定

臺灣日日新報 第一萬二千五百九十二號 昭和十年四月二十二日

二十一早大地震
新竹臺中強震
死傷家屋倒壞無數

震源在新竹州後龍溪上流

昨二十一早大地震。臺北淡水亦是。竹州下刺明者△南庄消風。竹南郡南庄市民。昭和十年四月二十一日午前六時二十七分二十五秒。震源地。在新竹州南部衙龍附近。震度烈。震源深約二十公里。△苗栗郡苗栗街。午前六時二十七分。震度烈

臺灣日日新報 號外
昭和十年四月二十一日
（第三種郵便物認可）

臺灣日日新報 號外

強震新竹臺中を襲ひ 死傷多數、家屋倒壞無數

震央は新竹州後龍溪上流 清水街は火事を發す

近來珍らしい強震が二十一日午前六時二分十七秒より搖れ出し臺北市民を驚かせたが總震動時間約三十分にして止んだ、震源地は新竹州南部後龍溪上流である、次いで第二回目の地震が午前六時二十七分三十五秒より搖れ出し約二十分續いた、震源地は前同樣新竹州南部であるこのため新竹州下には判明した者のみにて死者百餘名、家屋倒壞數も多大なる如く殊に臺中山手線に於ては隧道の崩潰、鐵橋の破壞等の事故あり、汽車は不通になつた外、臺中州下にては地震のため火事を起せるものあり酸鼻を極めてゐる

哀れ歷死者百餘名

倒壞家屋の判明せるもの二百餘 新竹州は最も甚大

【新竹電話】新竹州下に二十一日の日曜の朝强震あり、棚の物は落ちろ、襖は倒れるなど人人は周章て戶外に飛び出し、續いて午前六時二十七分前回より激しい搖り返しあり、州下全般に左り人畜の死傷家屋倒壞、鐵道線路被害、電話線不通箇所等は計り知れざるも既に判明せるもの左の如し

▲新竹市の部 歷死者本島人三名、重傷者七名、家屋倒壞九戶（臺灣煉瓦會社新竹工場も全壞）高歷線の一ヶ所あり（高一を

【新竹電話】新竹州下に二十一日の日曜の朝强震あり、棚の物は落ちろ、襖は倒れるなど人人は周章て戶外に飛び出し、續いて午前六時二十七分前回より激しい搖り返しあり、州下全般に左り人畜の死傷家屋倒壞、鐵道線路被害、電話線不通箇所等は計り知れざるも既に判明せるもの左の如し

▲新竹市の部 歷死者本島人三名、重傷者七名、家屋倒壞九戶（臺灣煉瓦會社新竹工場も全壞）高歷線の一ヶ所（高一を

【新竹電話】新竹州下に二十一日の日曜の朝强震あり、棚の物は落ちろ、襖は倒れるなど人人は周章て戶外に飛び出し、續いて午前六時二十七分前回より激しい搖り返しあり、州下全般に左り人畜の死傷家屋倒壞、鐵道線路被害、電話線不通箇所等は計り知れざるも既に判明せるもの左の如し

▲新竹市の部 歷死者本島人三名、重傷者七名、家屋倒壞九戶（臺灣煉瓦會社新竹工場も全壞）高歷線の一ヶ所あり

臺灣日日新報 第二號外
昭和十年四月二十一日
（第三種郵便物認可）
發行兼編輯人 兼野 鐵吉
發行所 臺北市榮町四丁目
臺灣日日新報社

慘死者路傍に累々
阿鼻叫喚の生地獄
豐原郡神岡は全庄倒壞し
慘！清水街は全滅
本社特派員實見記

【豐原電話】臺中州豐原郡下の內埔、后里、神岡方面は二十一日早朝の强震以來正午を過ぐるも餘震止まず、家を失つた罹災民等は勿論のこと、住民の全部が路上や並木の下に蓆又は戸板などを敷いて不安に驅らるるもあり、又負傷者を竹林の中に背負ひ行きて看護するもあり、强震と同時に家族中から多數の死傷者を出し悲歎に暮れてゐる家もあれば、親は愛兒を、愛兒は親を大聲を擧げて狂ひ歩くなど生地獄その儘を現出してゐる（二十一日正午記）

【臺中電話】震源地の中心を突く、中には運搬中に息絶ゆる者もあり州安達衛生課長は衛生課員を隨へ附近の公醫と協力し手當を加へてゐるが血の臭と藥品の臭とにむせ返つてゐる等全く凄慘の極で尙同庄の訓導部落の如きは文字通り全滅で全家族中僅か一人が生殘り十數人の家族が慘死した家もあり父を呼び母を求める子を抱き哀れな人々によつて崩されてゐる地震當時の模樣に付き神岡公學校長は恐怖の體驗を語る

【二十一日臺中發電話】二十一日午前六時五分頃臺中州下一圓に亙り人心皷々たる、大湖地方の被害は今尙通信不能の爲め不明じないが大湖庄全壞家屋千六百九十二戸に達した

人口三萬の街も
死の巷に急變
倒壞家屋で街路塞され
哀れ鬼哭巷に滿つ

【臺中電話】豐原郡神岡庄を經て大甲郡內埔水底に至る道路沿線は、全部倒壞し、殊に神岡庄の如きは全く見る影もなく倒壞の家屋の下敷となり大通りの八部分を殘して全壞又は大破してゐる、同庄公學校雨天體操場には重傷者が續々トラック、リヤカー、牛車等によつて運ばれて來る、負傷者か悲痛な聲で運ばれて來る、瀕死の重傷者は文字通り全滅で全家族中僅か一人が生殘り十數人の家族が慘死した家もあり父を呼び母を求める子を抱き哀れな人々によつて崩されてゐる地震當時の模樣に付き神岡公學校長は恐怖の體驗を語る

餘震頻々
人心は戰々兢々

【新竹電話】新竹地方は今尙餘震頻々として居り人々は戰々兢々として居る、午前十一時までの報告によれば新竹州下の死者百五十三名、負傷者百九十六百に達した

案じられる
新竹大湖地方
通信不能で詳報なきも
被害は一層甚大の模樣

【新竹電話】新竹地方は今尙餘震頻々として居り人々は戰々兢々として居る、大湖地方の被害は今尙通信不能の爲め不明じないが大湖庄は新竹州下の最大の地震地であるから、午前十一時までの報告によれば新竹州下の死者百五十三名、負傷者百九十六名に達した

震災甚大なため
緊急部局長會議
飛行機を出して實狀視察

【臺北電話】臺中州豐原郡下の內埔、后里、神岡方面は二十一日早朝の强震以來正午を過ぐるも餘震止まず、家を失つた罹災民等は勿論のこと、住民の全部が路上や並木の下に蓆又は戸板などを敷いて不安に驅らるるもあり、又負傷者を竹林の中に背負ひ行きて看護するもあり、强震と同時に家族中から多數の死傷者を出し悲歎に暮れてゐる家もあれば、親は愛兒を、愛兒は親を大聲を擧げて狂ひ歩くなど生地獄その儘を現出してゐる（二十一日正午記）

【臺北電話】兩州下の震災甚大なるため二十一日午後期せずして中川總督、平塚長官以下岡田財務、小濱內務、石垣警務、深川文教の各關係局長、堀田交通局總長、川村審議室事務官、林山祕書官等長官公宮に參集、緊急部局長會議を開き各方面より集る情報を手に種々協議したが差當り震災被害の實況を知る必要あるため義勇號一臺に二十一日午後二時半出動を命じた、同號は午後三時半頃來着する豫定であるが、同時に右部局長會議では罹災救助金の支出等に就ても打合す所あつた

大安溪中流に
大陷沒
震央は臺中の東北約十里

【新竹電話】今回の震災地は臺中市東北方四十粁の地點と見られ殆ど中州と新竹州とを分つ大安溪中流に大陷沒を生じたとの事である

各地方官
急遽歸任

地方長官會議に出席中の知事、廳長等は二十一日朝の地震に被害も多き見込みにつき各長官とも震災不通の所は徒歩の覺悟にて急遽歸任の途についた

臺中大隊出動
一個小隊を急派

【臺中電話】臺中大隊では被害地たる豐原、大甲兩郡下へ一箇小隊を急派出動せしめることとなつた

軍醫出動
流言を取締る

新竹州下へ

【新竹電話】州警務部では震災による流言蜚語の取締りを嚴重に取締るべく通譯を

衛生隊組織
臺北より應援

【新竹電話】新竹州衛生部では震災地の死傷者手當の爲め左の如く衛生隊を組織大々的救護に當ることとした

（第一班）竹南苗栗方面行き池田警務課長以下二名
（第二班）同方面行き衣笠技師以下三名
（第三班）同方面行き竹中公醫以下二名
（第四班）大湖方面行き坂元公醫以下二名

最大の地震
臺中州下の被害調べ

臺中州下に於ける地震にて被害ありたるもの左の通り

	死者	全壞家屋	發生地
大正五、八、二八	一七五名	五、四九九戸	南投
大正五、一二、一五	二二名	三、〇六九戸	南投
大正六、一、五	二九名	一、七五六戸	埔里
大正六、一、七	二二名	六八五戸	埔里
大正十一、九、一五	五名	四二戸	埔里

領臺以來の本島に於ける最大の地震は明治二十九年二月十七日嘉義地方の烈震にして死者三、六四三人、全壞家屋二〇、九八七戸である

州警務部
全員出動
災害地に急行

【新竹電話】新竹州警務部では二十一日午後零時半警務部全員及び大湖、苗栗、中壢の各部署警察職員中

名宛非常召集を行ひ大湖部では木下警部、苗栗部では河野警部補、竹南部では成山警部、竹東部では陸山警部補引率の下に四個小隊を組織罹災地の警戒及び救助に當ることせしめた

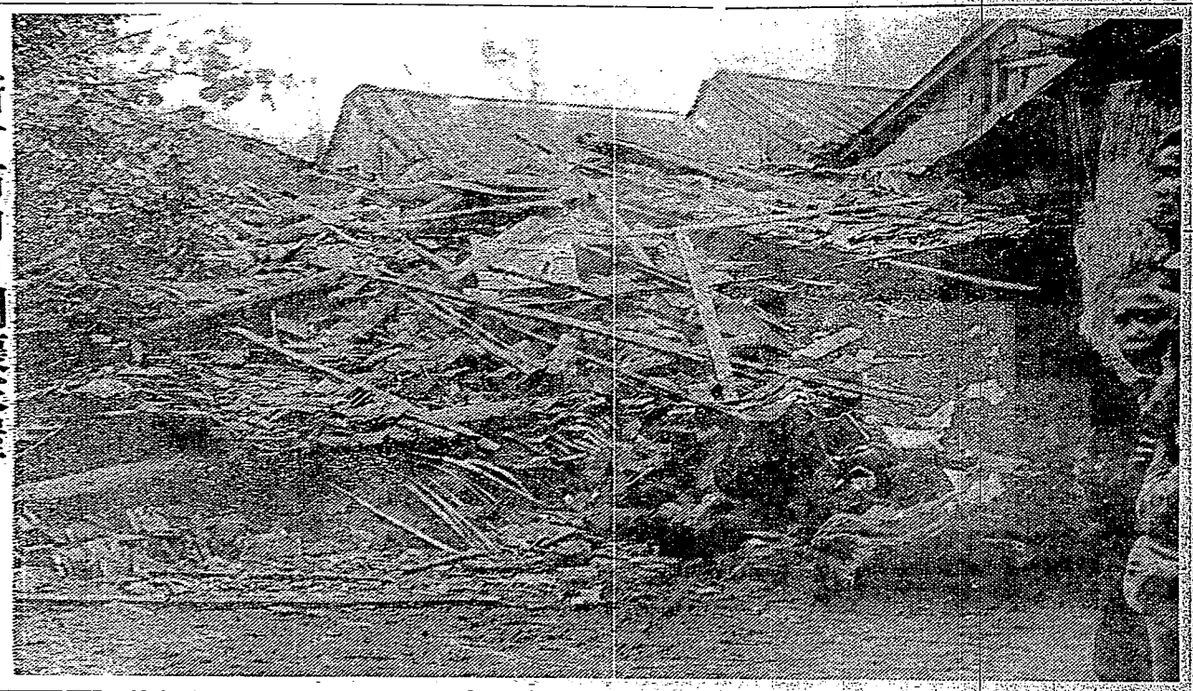
日石のガス
配給不能
市民は燃料に窮す

【新竹電話】日石供給の新竹市內のガスは地震の爲め午前十一時になつて配給不能に陷つた、日石新竹出張所、同工場、苗栗營業所との通信連絡不能の爲め何れの部分に故障あるか判明せずガスの供給を受けてゐる新竹市內各家庭では飯に窮木炭等の買込みに狼狽してゐる

羅災民に對し
臨機の處置
內海知事より通達

【新竹電話】地方長官會議出席の爲め出北中であつた內海知事は二十一日正午臨時州知事會に於て諸々集つて來る州下の被害狀況を聞き來年度に於ける復興事業の施行方針を定め災害救助に基き救出し救護等に當り罹災者の救護を厚くすべき通牒を發した

新竹市內の倒壞家屋



新竹市內道路の龜裂

慘死者は千數百名
一報毎に被害甚大を報じ
實害は數倍に上らん
傳書鳩活躍
田川中佐が被害地へ

【臺中電話】豐原大甲兩下の被害は時と經るに從つて殖えると增加し、午後一時現在豐中州係安課に達した豐原郡下に於ける死者は二百十四名、重傷者二千二百八名、全壞家屋一萬二千六百六十戸、東勢郡死者二十六名、重傷者二十二名、住家全壞三百二十六戸、大甲郡下の被害は不通にて州當務部との連絡全くつかず一切の被害はこの程度に達する見込みである、東勢郡でも卓國方面に五、六十名の死者あると考へる根據であるが詳細不明、豐原郡で最も被害の甚だしきは神岡庄で住家六百餘全壞、四百四十名の死者と六百五十餘名の負傷者を出してゐる、內埔庄も相當被害

【臺中電話】豐原大甲兩下の被害は時と經るに從つて殖えると增加し、午後一時現在豐中州係安課に達した豐原郡下に於ける死者は二百十四名、重傷者二千二百八名、全壞家屋一萬二千六百六十戸、東勢郡死者二十六名、重傷者二十二名、住家全壞三百二十六戸、大甲郡下の被害は不通にて州當務部との連絡全くつかず一切の被害はこの程度に達する見込みである、東勢郡でも卓國方面に五、六十名の死者あると考へる根據であるが詳細不明、豐原郡で最も被害の甚だしきは神岡庄で住家六百餘全壞、四百四十名の死者と六百五十餘名の負傷者を出してゐる、內埔庄も相當被害

負傷者數千名で
醫者も呆然
恰も野戰病院の觀

負傷者數千名を出してゐる罹災民救助のため、一夜にして

【豐原電話】豐中州衛生課では神岡庄に出張し救護手當を施し少年あり文字通りの焦熱地獄である人が助かつたのが不思議な程である、家屋什器の損害だけでも數百萬圓に達する見込みである

海岸線だけ
二十二日復舊
山線は當分見込なし

震災によつて受けた鐵道部の被害は未曾有の大きさで、特に震源地に近い山線の被害は海岸線に比して一層甚しく復舊は今一、二箇月を要する見込で鐵道部としては取敢ず山線に比し被害甚だしき海岸線の復舊に全力を注いでゐるが今の所

山線	竹南苗栗間
海岸線	竹南新竹間

全く不通となり死傷は不明なるも死者は數百名を出してゐる、內地人も相當被害

【新竹電話】新竹州內の震災地の死者六十一名、重傷者六十一名、住家全壞三百五十戸の知

▲死傷者

	死者	重傷者	輕傷者
新竹	三	一	一
苗栗	五	一	一
新竹	三	一	一
苗栗	五	一	一

▲被害の狀況

午前八時現在

【新竹電話】新竹州內の震災地の死者六十一名、重傷者六十一名、住家全壞三百五十戸の知

▲死傷者

	死者	重傷者	輕傷者
新竹	三	一	一
苗栗	五	一	一
新竹	三	一	一
苗栗	五	一	一

▲被害の狀況

午前八時現在

【新竹電話】新竹州內の震災地の死者六十一名、重傷者六十一名、住家全壞三百五十戸の知

▲死傷者

	死者	重傷者	輕傷者
新竹	三	一	一
苗栗	五	一	一
新竹	三	一	一
苗栗	五	一	一

▲被害の狀況

午前八時現在

【新竹電話】新竹州內の震災地の死者六十一名、重傷者六十一名、住家全壞三百五十戸の知

▲死傷者

	死者	重傷者	輕傷者
新竹	三	一	一
苗栗	五	一	一
新竹	三	一	一
苗栗	五	一	一

▲被害の狀況

午前八時現在

社會課長が
現場へ
督府も應援策

新竹及び臺中州下の地震被害は嚴重なる調査中であり右の報告も二十一日朝來續續入電に從つたもので交通局總長及び內務局地方部等で社會課長は震災地を踏へ又地方部長は新竹廳に立往生の形となり臨時に復舊の時間を尋ねたりして待合せで困惑の面持を見せてゐる

旅客は各驛に
立往生
いつれも困惑

【新竹電話】新竹地方の震災を知らず北部から南部へ向つた旅客は竹南以南の鐵道不通の爲め竹南驛或は新竹驛に立往生の形となり臨時に復舊の時間を尋ねたりして待合せで困惑の面持を見せてゐる

新竹郡	三	四	
中壢郡	一	三	
竹南郡	一五五	八五	
竹南郡	二〇四	二〇〇	

高雄は無被害

【高雄電話】二十一日午前六時過ぎ高雄州下一帶に微震あり高雄市內でも相當人體に感ずる程度にて高雄測候所の發表によれば初回微震は午前六時二十九分その他不感二回あり被害にたかつた

驛長が壓死

【新竹電話】二十一日午前六時五分頃臺中州下一圓に亙り人心皷々たる、大湖地方の被害は今尙通信不能の爲め不明じないが大湖庄は新竹州下の最大の地震地であるから、午前十一時までの報告によれば新竹州下の死者百五十三名、負傷者百九十六名に達した

餘震頻々
人心は戰々兢々

【新竹電話】新竹地方は今尙餘震頻々として居り人々は戰々兢々として居る、大湖地方の被害は今尙通信不能の爲め不明じないが大湖庄は新竹州下の死者百五十三名、負傷者百九十六名に達した